

浅川町人口ビジョン【概要版】

平成 28 年 3 月

ポイント

- 1990 年以降、総人口は本格的な減少局面へ突入。
- 自然動態は少子高齢化の影響により、自然減が加速化。合計特殊出生率も人口置換水準（2.07）には届かず。
- 社会動態はほとんどの年度で転出超過。20 代の転出超過が目立つ。
- 「浅川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進により、2060 年において約 4,700 人の人口確保を目指す。

(1) 総人口と年齢3区分別人口の推移

国勢調査による本町の総人口の推移をみると、戦後から高度経済成長期にかけて急激に減少しています。1950 年から 1975 年にかけて約 2,000 人の減少となりましたが、これは 25 年間で約 21%の減少を示しています。

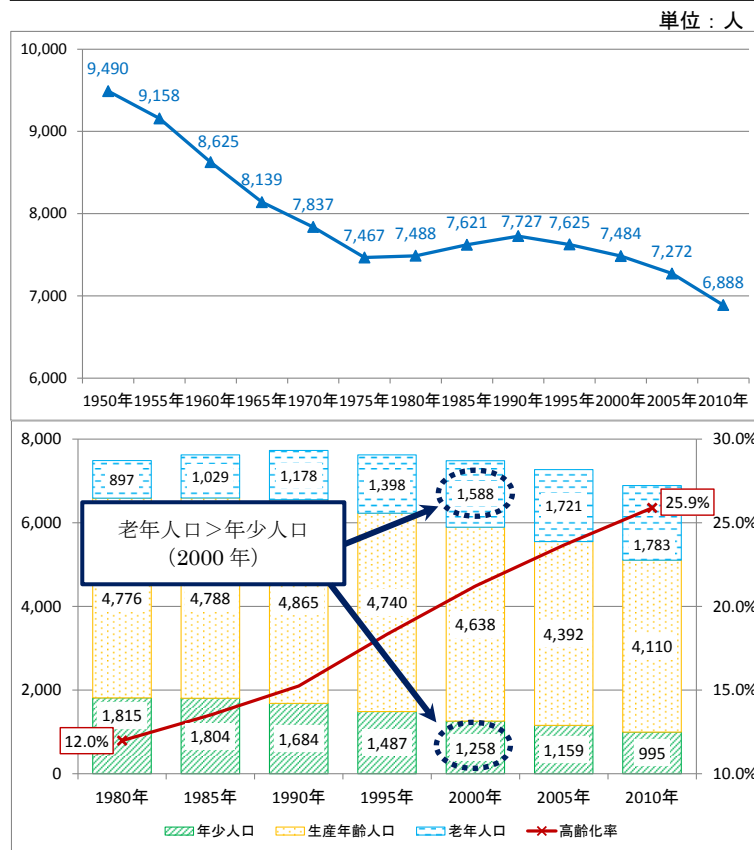
その後、バブル経済期にかけて人口が微増しましたが、1990 年項は再び減少に転じました。

1980 年以降の年齢3区分人口をみると、年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）は概ね減少傾向が続いています。特に年少人口は 1990 年から 2010 年にかけての 20 年間で約 41%減少しています。

一方で老年人口は一貫して増加を続けています。2010 年の老年人口は 1,783 人となっていますが、1980 年と比較すると約 99%の増加となっています。

高齢化率は 1980 年には 12.0%でしたが、年々上昇し、2010 年には 25.9%に達しています。年少人口と生産年齢人口の減少傾向と老年人口の増加傾向が同時にみられることから、今後も高齢化率はさらに上昇していくものと予想されます。

図表 1 総人口と年齢3区分人口及び高齢化率の推移



資料：国勢調査
※1950 年は、旧山白石村と小野田村の一部（小貫、太田輪）の人口を含む。

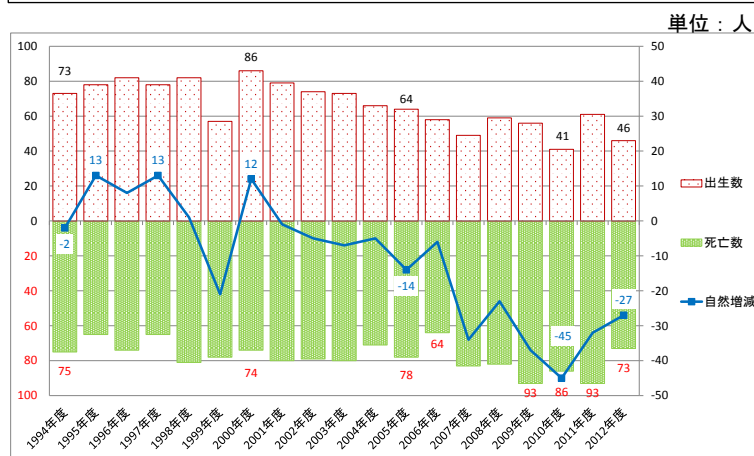
(2) 自然動態の特徴

本町の出生数は、1990 年代は概ね 80 人程度で推移してきましたが、2000 年代に入ると徐々に減少してきました。一方で死亡数はわずかに増加しつつあります。2000 年代半ばまでは概ね 60～80 人でしたが、2009 年度からは 3 年連続で 85 人以上となっています。

自然増減（出生数－死亡数）についてみると、1990 年代は概ね自然増で推移していましたが、2001 年度以降は自然減が続いており、その度合いは大きくなる傾向にあります。少子化と高齢化の進行により、今後も自然減は進行するものと考えられます。

また、1 人の女性が一生に産む子どもの数とされる合計特殊出生率（ベイズ推定値）は、最新の数値では 1.61 となっています。人口維持のために必要とされる値（人口置換水準）である 2.07 とはまだまだ差があります。

図表 2 出生数、死亡数、自然増減の推移



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年 4 月 1 日～翌 3 月 31 日）

	全国	福島県	浅川町
合計特殊出生率 (2008 年～2012 年)	1.38	1.48	1.61

資料：人口動態調査 保健所・市町村別統計
※ベイズ推定値は、当該市区町村を含むより広い地域である二次医療圏のグループの出生の状況を情報として活用し、これと各市区町村固有の出生数等の観測データとを総合化して当該市区町村の合計特殊出生率を推定した値。

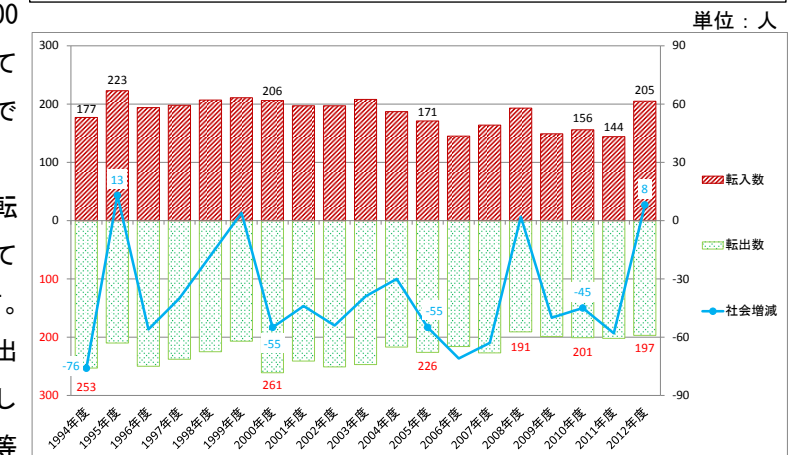
(3) 社会動態の特徴

本町の転入数は減少傾向にあります。2004 年度に 200 人を下回ると、その後は 150 人を下回るようになっています。転出数も同様に減少傾向にありますが、近年では 200 人前後で推移しています。

社会増減（転入数－転出数）についてみると、概ね転出数が転入数を上回っており、転出超過の状態が続いています。毎年 30 人から 60 人の社会減が生じています。

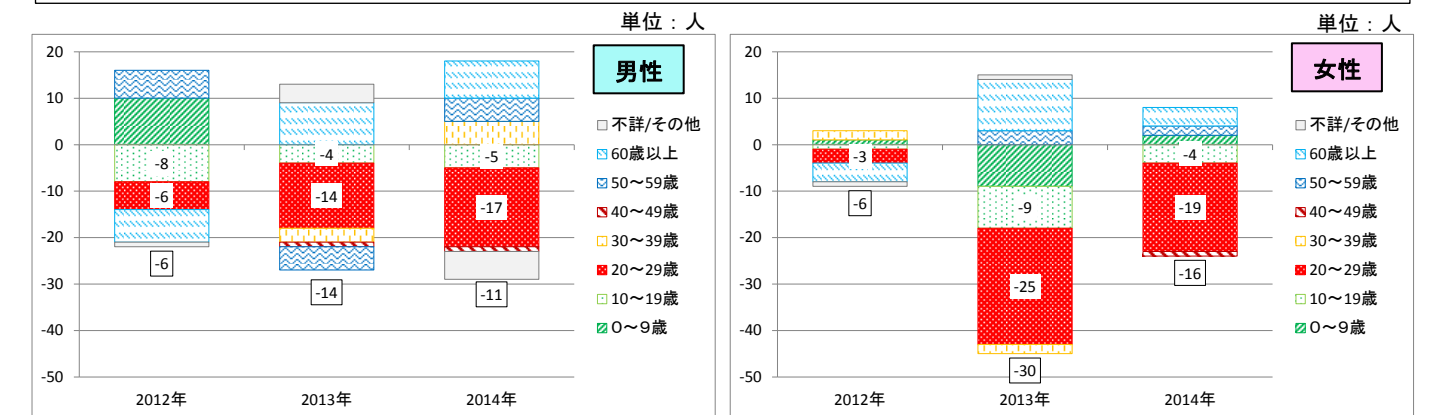
純移動数を年齢別にみると、男女ともに 20 代の転出超過が大きいことがわかります。就職や結婚等を機として転出する人が多いことが想定されます。また、進学等で移動のある 10 代でも転出超過となっています。

図表 3 転入数、転出数、社会増減の推移



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年 4 月 1 日～翌 3 月 31 日）

図表 4 男女別・年齢階級別の純移動数



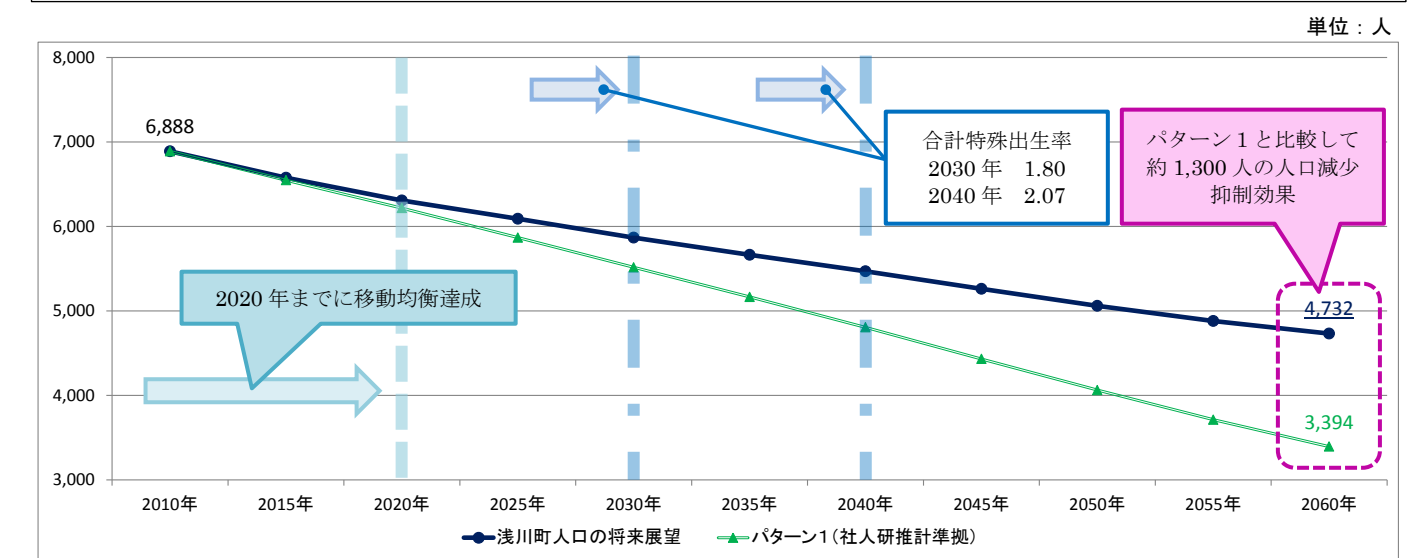
資料：住民基本台帳人口移動報告

資料：住民基本台帳人口移動報告

(4) 浅川町の人口ビジョン

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計に準拠した人口推計によると、2060 年には 3,394 人まで減少すると予測されています。本町では、「浅川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて施策を展開することで、自然動態、社会動態を改善させることにより、人口減少を食い止めます。「浅川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進により、2060 年における人口は 4,732 人となり、約 1,300 人の人口減少を抑制する効果が見込まれます。

図表 5 浅川町 人口の将来展望



資料：まち・ひと・しごと創生本部配布のワークシートより作成